

組合員同士が平和の大切さを学ぶ機会 「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」に組合員 24 名が参加

コフプみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、平和の大切さを学ぶ機会として「ヒロシマ平和の旅」を8月4日～6日に、「ナガサキ平和の旅」を8月7日～9日に実施します。

「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」は、核兵器や戦争の悲惨な事実を組合員同士で考え、次世代に伝えていくために、1970年代から毎年、全国の主な生協が参加者を募り、原爆の日に合わせて実施しています。今年のコフプみらいからは、広島に16名、長崎に8名の計24名（うち、小・中学生6名）が参加します。

「ヒロシマ平和の旅」では、現地の子どもたちによるガイドで平和公園内の石碑を案内してもらう企画や、現地のボランティアの方による子ども向け原爆詩朗読会などを行います。「ナガサキ平和の旅」では、原爆落下中心地から約500mの城山小学校を中心に被爆遺構を巡る企画や、当時12歳だった被爆者の方に体験談を聞く機会などを設けています。また、「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」では、全国の各生協の平和への取り組みを発表する場を1日設けており、ブース展示やステージ発表を通して全国の組合員同士が交流を図ります。

なお、今回の旅行の費用の一部は、組合員から募集している「平和の旅募金」から拠出しており、後日参加者による報告会などを開催し、コフプみらい全体で平和について考える活動となっております。

コフプみらいでは、飢餓や戦争・紛争などが無い、だれもが安心してくらせる平和な社会づくりに貢献するために、組合員が平和について学んだり考えたりする機会を今後とも大切にしていまいります。



原爆ドーム(2013年度ヒロシマ平和の旅)



浦上天主堂の遺壁(2013年度ナガサキ平和の旅)

《生活協同組合コフプみらい 概要》

ちばコフプ、さいたまコフプ、コフプとうきょうは組織合同(合併)し、「コフプみらい」になりました

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5

【理 事 長】田井 修司(たい しゅうじ)

【組合員数】308万人(2014年7月20日現在)

【総事業高】3,629億円(2013年度)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>